

# U-Home

U-Home

# だより

〒708-1222  
岡山県津山市西中 329-1

株式会社 **U-Home**

TEL 0868-36-4372

FAX 0868-36-4498

✉ u-home@mx1.tvt.ne.jp

## 第 67 号

河本様にいただいた「ラバテラ・トリメストリス」(和名 ハナアオイ)が今年も綺麗なピンク色の花を咲かせました。直径10cm近い花が次々に咲くから、葉も茎も見えないほど花びらで埋め尽くされとても華やかになります。今年の冬は雪が多く、4月になっても那岐山の頂上付近には雪が残っていたように、明らかに草花の成長が、今年の春は1～2週間遅れたような気がします。このラバテラも開花が例年より一週間ほど遅れました。



3年前の4月6日に奈良県吉野山の桜を見に行きました。吉野山の桜は「一目千本」と言って、多くの桜が一目で見渡せることで有名です。約200種の山桜が3万本あるということです。サクラは下・中・上・奥の4箇所密集しており、おのおの下千本、中千本、上千本、奥千本と呼ばれており、例年4月初旬から末にかけて、山下から山上へ順に開花してゆくため、長く見頃が楽しめるということです。

その日は下千本と中千本が見ごろで、上千本が見ごろまであと少しくらいでした。しかし残念なことに当日はとても寒い日で、ふもとは曇りでしたが、山に登るにつれて冷たい雨が降ってきました。

吉野山のシンボルである世界遺産「金峰山寺」を過ぎるくらいまでは、ちょうど花見シーズンということもあり通りはものすごい人出でした。家並みなどがなくなったあたりからは人もまばらとなり、雨がみぞれに、みぞれが雪になってしまいました。そのつもりで用意した傘と防寒着でもかなり寒い！せっかくここまで来たのだから、世界遺産の「吉野水分神社(よしのみくまりじんじゃ)」を見て帰ろうと頑張って山を登ってゆきました。



うっすらと雪が積もった吉野水分神社

吉野水分神社は、上千本の上の方、もう少しで奥千本に差し掛かるほど高いところにあります。桃山時代に建てられた、3連の棟が特徴的で非常に美しい建物でした。さらに奥、奥千本には世界遺産「金法神社」などがあるのですが、あまりに寒いので退散することにしました。そして今年の4月16日、今年は少し春が遅れているから、吉野山も今がちょうど見ごろじゃなかろうかと、前回のリベンジに出かけることにしました。

奈良県吉野山までここから自動車で約3時間30分の道のりです。朝6時に出発すれば10時くらいには着くだろうと出かけました。

吉野の桜は気候によって早い年もあれば遅い年もありますが、最近では4月10日前後が見ごろとのデータが出ています。見ごろになれば非常に多くの車で観光客も詰めかけます。交通渋滞でどうにもならなくなります。そこで、「パークアンドライド」と言って、少し離れた駐車場からバスなどにより目的地までピストン輸送します。前回はそうでした。しかし今年の4月16日は、通常の見ごろを少しすぎるから必要なだろう、と吉野山観光協会は判断されたのでしょうか、パークアンドライドは無しということで、自動車の観光客は吉野山のあちこちにある駐車場まで車を進めるしかありませんでした。

悪い予感がありました。今年は少し春が遅れているから山全体がちょうど見ごろとなっていて、この週末は大変多くの車が詰めかけていたのです。当日の行動予定は、近鉄吉野線の終点の吉野駅の駐車場に車を停めて、ロープウェイで吉野山駅まで登り、そこから上千本の方までのんびり登り、できれば奥千本まで行ってこようというものでした。山といっても山上駅からは、稜線上の道を金峰山寺を挟んで数百メートルは、みやげ物や飲食店その他の商店が立ち並ぶ街並みとなっています。

で、どうだったかという、目的地の3kmくらい手前でピタッと車は止まってしまい、後はのろのろと人が歩くよりゆっくりとなっていました。駅に到着しても当然駐車場は満車、前も後ろもいったいどこまで続いているかわからないほど長い車列は、次の駐車場を求めて、止まったり少し進んだりを繰り返しのろのろと進みました。

車道は吉野山の西の森林の中をうねうねと登って行き、上千本に到達してからは桜の中をうねうねと縫って進みました。行けども行けどもどの駐車場も満車です。吉野山を周回する道は本日は一方通行となっており、対向車が来ないのは良いけれど、散策する多くの人たちをかき分けて進むのが申し訳なくて、「ごめんなさい！」と念じながら進みました。



平成 29 年 4 月 16 日

上の写真のとおり、満開の桜の中に車を進めるわけですが運転者にゆっくり楽しむ余裕はなく、駐車場もなく、周回道は下りになってしまいました。金峰山寺に続く商店街の直前でお寺の駐車場らしきものを発見！公共の駐車場ではないから反則ですが、お昼も近いことから、お昼ご飯の間だけちょっとお願いしますと心で思って、大急ぎで昼食だけ食べてきました。前回は寒くて退散、今回は車が多すぎて退散、これで吉野山は2連敗です。



平成 29 年 4 月 16 日

しかし、悪いことばかりじゃなく十分に時間が余ったから、今回は世界最大の木造建築物「東大寺大仏殿」を今回は「キトラ古墳」「高松塚古墳」「石舞台古墳」をゆっくり見て回ることができました。

いつものようにとりとめのない話が続きましたが、やっとこれからが本題です。

わが国の5月時点の状況は、『景気は引き続きゆるやかに回復している、この先も緩やかな回復が続く。堅調な雇用・所得情勢を受けて、個人消費も持ち直している。』ということらしい。震災復興が続く東北やオリンピック景気に沸く東京、あるいはIT関連、好調な輸出関連企業の社員ではないこの地に住むほとんどの人にとって、景気が緩やかに回復しているといわれても納得のいかないところでしょう。

しかし、休日となれば吉野山を埋め尽くすごとく観光客であふれます。そこらじゅうの観光地や商業施設などに人があふれているのを見ると、認めたくはないけど、景気が上向いているというのは本当かも？と思わざるを得ません。

そうなれば消費税アップ。二度にわたり実施が延期されてきた消費税アップですが、昨年末の状況ではこの調子で行けば再々延期もありうるか？と書いていたのですが、それも望み薄で、とうとう再来年の10月には消費税が10%になってしまいそうです。

政府が、デフレから脱却しつつあると言い出したころから、あらゆる物品が明らかに少しずつ値上がりしたり内容物が少なくなったりしています。景気回復の波及がないまま、増税の負担だけ増えるという地方に住んでいる者にとって、さらなる試練がやってくるでしょう。

先日、総務省から「家計調査報告」が発表されました。2人以上の家庭の平均貯蓄額が1820万円だということです。ほとんどの人が「不景気ですね〜！」なんて顔はしているくせに、みんなこんなに持っているの？と驚きの声です。若い人の多いネットでの反響は、

「俺、2万円」

「涙で画面が読めません」

「しっかり者の嫁さんもらえれば・・・！」

「どうやら俺が知る日本とは違うらしい」

全ての世帯を横に並べたとしたら、ちょうど真ん中の世帯が1064万円らしい。1820万円以上の世帯は全体の30%ほどというから、お金持ちの中には信じられないくらいお金を持っている世帯があるということで、改めて格差がだんだんと広がっているということを実感できたということでしょう。

ついこの前まで、小泉さんが総理大臣になるくらいまでは、日本人の意識の中には「自分は中の中」と考えている人が圧倒的で、『一億総中流社会』と呼ばれてい



4月16日 石舞台古墳



たはずですが、いったいいつの間に『格差社会』になってしまったのでしょうか？

最後に、すでに還暦を過ぎた方には衝撃でしょうが、世帯主が60歳以上の家庭の平均貯蓄額は「2385万円」だということです。

いったいこの数字は何を意味するのか？

幸せのバロメーターではないような気が……？

## 日本ミツバチの飼育 (その14)

日本ミツバチを飼育されている方、あるいはこれから日本ミツバチを飼育したいと思っている方、今年に分蜂はいかがでしたか？幸運にも捕獲できた方はおめでとうございます。捕獲できなかった方も、望みは非常に薄くなりますが、夏分蜂や逃亡群の捕獲の可能性がありますから、もう少し様子を見てください。

通常は、厳しい冬を乗り切った群れは、春が来ると爆発的に群れを大きくし分蜂に備えます。このあたりの分蜂は4月末から5月初めに集中します。

分蜂より2週間ほど前からオス蜂が生まれ始めます。オス蜂は働き蜂より一回り太く真っ黒です。針を持たないから触っても刺しません。オス蜂のさなぎの時の巣蓋は厚く、それを破って出てくるため、直径4ミリほどの薄茶色の巣蓋が底板に落ちていることでオス蜂の誕生がわかります。毎日数十匹のオス蜂が生まれます。

そのころ巣の先端では王台が作られています。王台では女王が育ちます。大きな群れでは5～7の王台が作られます。第1子女王が誕生すると群れの半数を引き連れて、もと居た母女王が群れを離れます。これが分蜂です。

通常動物は子を産んで個体数を増やしてゆきます。ミツバチは特殊で生まれてくる蜂ひとつひとつには何の生活能力もなく、全ては群れ全体の意思により、群れ全体が一つの生き物のように機能します。その中心となるのが女王です。女王は群れに命令などはしません。決してえらくはないのです。女王も群れ全体が1個の固まりとして機能するために、自然の摂理に従って役割通り働くのです。分蜂はアメーバなどが分裂して個体を増やすのに似ていると思います。

女王はそれぞれ違うフェロモンを出します。二つのフェロモンは同居できません。殺し合いをします。ですから正確には分蜂の時、第1子が誕生する直前に母女王が巣を離れます。第2子が誕生すると第1子が群れの半数を引き連れて出ます。王台の数だけくり返されます。……次号に続く。

次号は自宅飼育群に起こった大異変、日本ミツバチの存亡の危機についてお話したいと思います。

平成29年6月1日